

～海の生態系を育む、神奈川ブルーカーボンプロジェクトin城ヶ島～

三和漁業協同組合城ヶ島支所

プロジェクト概要

・神奈川県三浦市・城ヶ島周辺は、かつて豊かな水産資源に恵まれていましたが、近年は気候変動や植食性魚類の影響により、磯焼けが進行し、藻場の消失が深刻化しています。

・こうした危機を受け、地元漁業者を中心に、藻場の再生活動を通じて海の回復に取り組んでいます。ワカメ・カジメの定着に適した区域を選定し、ウニの除去や母藻の設置、食害魚の駆除などを実施。こうした取り組みは、第22回全国青年・女性漁業者交流大会にて **農林水産大臣賞(県内初受賞)** を獲得するなど、全国的にも評価を受けています。直近では、 **地域の子もたちや住民も参加し、体験活動や環境学習を通じて、海への理解と関わりを深めています。**

・今回、従来より続けてきた保全・啓発活動をより持続可能なものとするため、**三浦市初となるブルーカーボンクレジット** 制度の申請を通じて、その活用を目指しています。

取組内容

魚類やウニ駆除、カジメの設置等幅広い取組を年間通じて実施。
活動詳細は「三和漁業協同組合 城ヶ島支所」Instagramにて随時発信中。



神奈川県最大の自然島である城ヶ島



藻場消失時点(2013年)の海底

特徴・PRポイント

①継続的な活動による着実な藻場回復

②城ヶ島の海を知る・学ぶ場づくり

